

# 家族進学マネー会議 ワークシート

家族でマネー会議を始めるとき、このワークシートに書き込みながら進めてみましょう。  
お金のことが「見える化」され、プランを立てやすくなります。

## STEP 3. 家計の現状を洗い出す

家計から支出できるお金を見積もります。兄弟の有無や家計の状況などによって大きく変わるので、最低限これだけは出せるという金額を設定しましょう。なお、**初年度納付金**など、入学の前に必要な費用に奨学金は使えないので注意を。

項目	内容	金額(万円)
貯蓄から支出できる金額	万円 × 48か月(4年間)	
給与から支出できる金額	月平均 万円 × 48か月(4年間)	
学資保険		
その他		

祖父母、親族からの援助などがあれば記入しておきましょう。

合計(②) \_\_\_\_\_ 万円

## STEP 4. 希望を実現する方法を探る

足りない金額を算出し、それを補うための方法と金額を調べます。給付型奨学金は家計状況や学業成績などに所定の採用条件があるので、安易に見積もるのはお勧めできません。また、アルバイトは学業がおろそかにならない程度にとどめましょう。

差額(①-②) \_\_\_\_\_ 万円

項目	内容	金額(万円)
教育ローン(保護者)		
日本学生支援機構奨学金(本人)	月額 万円 × 48か月(4年間) <small>月額5万円×48か月(4年間)の場合(返還額3%)：月1万6769円×180回(15年) 返還額は日本学生支援機構のWebサイトでシミュレーションを!</small>	
アルバイト(本人)	月平均 万円 × 48か月(4年間)	
その他		



### memo

「保護者版」の「経済支援が充実している大学特集」で大学の支援制度を調べられます。

このページのワークシートと、タイプ別の記入例(国公立大学、私立大学の自宅/下宿)をコチラからダウンロードできます。



## STEP 1. 希望進路の確認

まずは、子どもの希望進路を確認します。特に費用のプランニングの基になる以下の項目について、じっくりとヒアリングを。希望がはっきりしない場合は、保護者の思いやアドバイスも交えながら、理想の進路を一緒に探っていきましょう。

- 大学に行きたい理由 \_\_\_\_\_
- 第1志望校  国立  公立  私立 \_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 学部
- 併願校 ( ) 校 • 希望する選抜方式  一般  学校推薦型  総合型
- 通学  自宅  地域外(一人暮らし)  地域外(寮)
- 留学  しない  短期(～3か月)  中期(3か月～1年)  長期(1年～)

## STEP 2. かかる費用を調べる

受験から大学卒業までにかかる費用を、各大学のWebサイトや、「保護者版」を参考に書き込んでいきます。志望校によって金額に差がある場合は、高いほうで見積もっておきましょう。

項目	内容	金額(万円)	
受験期	塾・通信講座などの受講費用		
	オープンキャンパス参加費用	交通費・宿泊費	
	大学入学共通テスト検定料	教科 ※2教科以下1.2万円、3教科以上1.8万円	
	国公立大学個別入試検定料	万円 × 校 ※1校当たり1.7万円	
	私立大学検定料	万円 × 校 ※目安は1校当たり3.5万円	
	共通テスト利用入試	万円 × 校 ※目安は1校当たり1.5万円	
合格～入学まで	受験時の交通費・宿泊費		
	初年度納付金* (入学手続き時納付額)	入学金、1年次前期授業料、施設・設備費	
	併願校の初年度納付金* (入学手続き時納付額)		
卒業まで	入学時の費用	教科書・教材費、住まい探しの費用、入居時の費用、家具・家電購入費	
	学費	1年次後期分	
		2年次以降	万円 × 年
	生活費	万円 × 48か月(4年間)	
	留学費用		
その他	運転免許取得費用、旅行費用、就活費用など		

\*初年度納付金の内訳は大学によって異なりますので、必ず確認しましょう。

合計(①) \_\_\_\_\_ 万円

うち、受験期から入学までに必要な金額 \_\_\_\_\_ 万円

# 家族進学マネー会議 ワークシート

家族でマネー会議を始めるとき、このワークシートに書き込みながら進めてみましょう。  
お金のことが「見える化」され、プランを立てやすくなります。

## STEP 3. 家計の現状を洗い出す

家計から支出できるお金を見積もります。兄弟の有無や家計の状況などによって大きく変わるので、最低限これだけは出せるという金額を設定しましょう。なお、**初年度納付金など、入学の前に必要な費用に奨学金は使えない**ので注意を。

項目	内容	金額(万円)
貯蓄から支出できる金額	6万円 × 48か月(4年間) 本人(兄)の生活費として。	288
給与から支出できる金額	月平均 3万円 × 48か月(4年間) 弟の教育費も考慮。	144
学資保険	満期保険金:兄100万円、弟100万円	100
その他	祖父母、親族からの援助はなし	

祖父母、親族からの援助などがあれば記入しておきましょう。

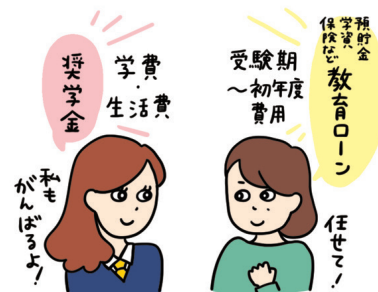
合計(②) 532 万円

## STEP 4. 希望を実現する方法を探る

足りない金額を算出し、それを補うための方法と金額を調べます。給付型奨学金は家計状況や学業成績などに所定の採用条件があるので、安易に見積もるはお勧めできません。また、アルバイトは学業がおろそかにならない程度にとどめましょう。

差額(①-②) 377.5 万円

項目	内容	金額(万円)
教育ローン(保護者)		
日本学生支援機構奨学金(本人)	月額 5万円 × 48か月(4年間) <small>月額5万円×48か月(4年間)の場合(返還額3%):月1万6769円×180回(15年) 返還額は日本学生支援機構のWebサイトでシミュレーションを!</small>	240
アルバイト(本人)	月平均 3万円 × 48か月(4年間)	144
その他		



### memo

「保護者版」の「経済支援が充実している大学特集」で大学の支援制度を調べられます。

このページのワークシートと、タイプ別の記入例(国公立大学、私立大学の自宅/下宿)をコチラからダウンロードできます。



## STEP 1. 希望進路の確認

まずは、子どもの希望進路を確認します。特に費用のプランニングの基になる以下の項目について、じっくりとヒアリングを。希望がはっきりしない場合は、保護者の思いやアドバイスも交えながら、理想の進路を一緒に探っていきましょう。

- ・大学に行きたい理由 得意の英語を生かして海外で働きたい
- ・第1志望校 国立 公立 私立 〇〇 大学 国際 学部
- ・併願校 (〇)校 ・希望する選抜方式 一般 学校推薦型 総合型
- ・通学 自宅 地域外(一人暮らし) 地域外(寮)
- ・留学 しない 短期(~3か月) 中期(3か月~1年) 長期(1年~)

## STEP 2. かかる費用を調べる

受験から大学卒業までにかかる費用を、各大学のWebサイトや、「保護者版」を参考に書き込んでいきます。志望校によって金額に差がある場合は、高いほうで見積もっておきましょう。

項目	内容	金額(万円)
塾・通信講座などの受講費用	学校推薦型選抜・総合型選抜対策講座	20
オープンキャンパス参加費用	<small>交通費・宿泊費</small> 自宅から近いのでほとんど交通費はかからない。	
大学入学共通テスト検定料	教科 ※2教科以下1.2万円、3教科以上1.8万円 受験しない。	
国公立大学個別入試検定料	万円 × 校 ※1校当たり1.7万円 受験しない。	
私立大学検定料	3.5万円 × 1校 ※目安は1校当たり3.5万円	3.5
共通テスト利用入試	万円 × 校 ※目安は1校当たり1.5万円 受験しない。	
受験時の交通費・宿泊費	自宅から近いのでほとんど交通費はかからない。	
初年度納付金* (入学手続き時納付額)	入学金、1年次前期授業料、施設・設備費 入学手続き時最小納付額・納付期限 12月〇〇日	76
併願校の初年度納付金* (入学手続き時納付額)	専願のため併願不可。	
入学時の費用	教科書・教材費、住まい探しの費用、入居時の費用、家具・家電購入費 教科書・教材費	27
学費	1年次後期分	54
	2年次以降	110万円 × 3年
生活費	6万円 × 48か月(4年間)	288
留学費用	オーストラリア	100
その他	運転免許取得費用、旅行費用、就活費用など 免許取得費用、旅行代、就活代	100

\*初年度納付金の内訳は大学によって異なりますので、必ず確認しましょう。

合計(①) 998.5 万円

うち、受験期から入学までに必要な金額 126.5 万円

# 家族進学マネー会議 ワークシート

家族でマネー会議を始めるとき、このワークシートに書き込みながら進めてみましょう。  
お金のことが「見える化」され、プランを立てやすくなります。

## STEP 3. 家計の現状を洗い出す

家計から支出できるお金を見積もります。兄弟の有無や家計の状況などによって大きく変わるので、最低限これだけは出せるという金額を設定しましょう。なお、**初年度納付金など、入学の前に必要な費用に奨学金は使えない**ので注意を。

項目	内容	金額(万円)
貯蓄から支出できる金額	<del>万円×48か月(4年間)</del> 姉の学費に使いあまり余裕がない	200
給与から支出できる金額	<del>月平均</del> 万円×48か月(4年間) 姉が卒業するまでの2年間は月3万円、その後7万円	240
学資保険	満期保険金	100
その他	祖父母、親族からの援助はなし	

祖父母、親族からの援助などがあれば記入しておきましょう。

合計(②) 540 万円

## STEP 4. 希望を実現する方法を探る

足りない金額を算出し、それを補うための方法と金額を調べます。給付型奨学金は家計状況や学業成績などに所定の採用条件があるので、安易に見積もるのはお勧めできません。また、アルバイトは学業がおろそかにならない程度にとどめましょう。

差額(①-②) 536.6 万円

項目	内容	金額(万円)
教育ローン(保護者)		100
日本学生支援機構奨学金(本人)	月額 9万円×48か月(4年間) 月額5万円×48か月(4年間)の場合(返還額3%)：月1万6769円×180回(15年) 返還額は日本学生支援機構のWebサイトでシミュレーションを!	432
アルバイト(本人)	月平均 2万円×48か月(4年間) (奨学金返還の原資として貯める)	96
その他		



### memo

「保護者版」の「経済支援が充実している大学特集」で大学の支援制度を調べられます。

このページのワークシートと、タイプ別の記入例(国公立大学、私立大学の自宅/下宿)をコチラからダウンロードできます。



## STEP 1. 希望進路の確認

まずは、子どもの希望進路を確認します。特に費用のプランニングの基になる以下の項目について、じっくりとヒアリングを。希望がはっきりしない場合は、保護者の思いやアドバイスも交えながら、理想の進路を一緒に探っていきましょう。

- ・大学に行きたい理由 メーカーで技術者として働きたい
- ・第1志望校 国立 公立 私立 〇〇 大学 工 学部
- ・併願校 (3)校 ・希望する選抜方式 一般 学校推薦型 総合型
- ・通学 自宅 地域外(一人暮らし) 地域外(寮)
- ・留学 しない 短期(～3か月) 中期(3か月～1年) 長期(1年～)

## STEP 2. かかる費用を調べる

受験から大学卒業までにかかる費用を、各大学のWebサイトや、「保護者版」を参考に書き込んでいきます。志望校によって金額に差がある場合は、高いほうで見積もっておきましょう。

項目	内容	金額(万円)
塾・通信講座などの受講費用	夏季・冬季特別講座	20
オープンキャンパス参加費用	交通費・宿泊費	10
大学入学共通テスト検定料	5教科 ※2教科以下1.2万円、3教科以上1.8万円	1.8
国公立大学個別入試検定料	1.7万円×1校 ※1校当たり1.7万円	1.7
私立大学検定料	3.5万円×3校 ※目安は1校当たり3.5万円	10.5
共通テスト利用入試	万円×校 ※目安は1校当たり1.5万円 未定	
受験時の交通費・宿泊費		10
初年度納付金* (入学手続き時納付額)	入学金、1年次前期授業料、施設・設備費 国立大入学金 納付期限 3月〇〇日	28.2
併願校の初年度納付金* (入学手続き時納付額)	私立〇〇大学理工学部 納付期限 2月〇〇日	100
入学時の費用	教科書・教材費、住まい探しの費用、入居時の費用、家具・家電購入費 教科書・教材費、住まい探しの費用、入居時の費用、家具・家電購入費	100
学費	1年次後期分 1年次前・後期分	53.6
	2年次以降 53.6万円×3年	160.8
生活費	10万円×48か月(4年間)	480
留学費用		
その他	運転免許取得費用、旅行費用、就活費用など 免許取得費用、旅行代、就活代	100

\*初年度納付金の内訳は大学によって異なりますので、必ず確認しましょう。

合計(①) 1,076.6 万円

うち、受験期から入学までに必要な金額 282.2 万円